

提 言 書

平成30年11月

人吉市補助金審査委員会

はじめに

補助金は、市の政策目的を実現するために、個人や団体が取り組む公益性が認められている活動を支援することにより、地域が抱える課題を解決するための有効な手段の一つであります。

しかし、その一方で、一旦交付されると、特定の団体に長期的に交付されてしまう傾向があり、事業本来の必要性や効果が十分に検証されないまま、既得権益化されやすいという課題もあります。

補助金は、市民の税金等から賄われていることから、高い公平、公正性が求められているとともに、今後の厳しい財政環境を踏まえ、限りある財源をより有効的に活用していく必要があります。

そこで、人吉市補助金審査委員会では、平成29年度の実績について補助金の原理原則である「公平性」「必要性」「有効性」「補完性」の4つの視点から審査を行いましたので、その結果を報告します。

1 審査結果について

審査については、平成27年度に交付し、平成28年度にも予算化されている46件の任意補助金を3か年で審査していくこととし、28年度に15件、29年度に15件を審査し、本年度は16件の補助金について審査を実施しました。（※6ページに一覧表を掲載）

審査は、平成29年度の交付実績について提出された実績報告書等の審査及び補助金交付団体と担当課を対象としたヒアリングを実施し、評点の総計を基に①～④のランクに振り分けました。

なお、平成30年度は委員に1名欠員が出たため、委員の評点の平均を基に算出しました。その結果は以下のとおりです。

【審査結果】

評 点	ランク	ランクごとの概要	件数
40点以上	①	今回の審査においては、概ね適正であると判断されるもの。	12
39点～ 31点	②	適正へ向け、審査コメントをふまえた改善を要するもの	4
30点～ 25点	③	改善すべき点がみられるので、減額を含めた見直しが必要なもの	—
24点以下	④	原則交付すべきではないもの	—

2 今後の補助金制度の運用について

今回の審査にあたり各委員から出された意見の中で、今後の運用において特に改善を求める事項は以下のとおりです。

(1) 全般的事項

① 提出される報告書及び資料について

- ・実績報告書については、すべて所定の様式を使用されており、前回から改善されていたが、一部の団体において書類の不備が散見された。
(決算書等の添付漏れ、支出内容が不透明)
- ・補助金審査の性質上、特別会計を設けている場合はその報告書等の提出も必要である。

(2) 市に関する事項

① 補助金として交付するに適さない事業

- ・事業内容の説明を聞くにあたり、市の事業として実施した方がよいのではないかと思われるものがあつた。

② 交付団体と市との関係について

- ・所管部署を変えたほうがより効果的ではないかと思われる事業があつた。
- ・同じような取り組みをする事業に対し、異なる団体に支出しており、市としても今一度整理すべきと思われる事業があつた。

③ 他町村と市との関係について

- ・他町村の負担割合に比べ、市の負担割合が高いなど不均衡なものがあり、また、算定根拠が不明確のものもあつた。

(3) 補助金交付団体について

① 事業の内容等について

- ・団体の本来の目的や趣旨、事業内容に沿っていないと思われるものがあつた。
- ・長年続いている慣例的な補助金については、本来は自立的に行うべき事業であるので、引き続き補助を必要とする要素・事項について明確な説明が求められる。
- ・事業実施による効果や目的、時期を検証し、費用対効果等を再検討すべきものがあつた。
- ・長年継続している事業でマンネリ化がみられ、事業内容を見直すべきものがあつた。改善が図られなければ事業の縮小や廃止も検討する必要がある。

② 補助金の使途等について

- ・人件費、記念品代など特定項目への支出の割合が高いものがあった。
- ・収入の大半が補助金と繰越金で賄われているものがあり、会費の増額など自助努力を求めるべき事業があった。
- ・支出の流れに疑問を感じるようなところがあった。

③ その他

- ・申請者と交付決定者が同一（市長）であるものがあった。

民法第108条で禁じられている双方代理、自己契約にあたるうえ、社会通念上からも補助金の交付を受ける団体の代表者は交替すべきである。

- ・市が事務局を持ち市の補助金を主とする事業運営については、基本的に見直すべきである。

- ・補助金の算定根拠を明確にすべきものがあった。
- ・予算に対し繰越金が多額なものがあった。

特にその財源が市からの補助金のみとなっている事業については、多額の繰越が発生するのは不適切であり、事業完了後は速やかに精算すべきである。また、補助金の減額、さらに廃止を含めて、予算の見直しも検討すべきである。

- ・繰越金の処理が、不適切と思われるところがあった。

（４）その他

- ・交付団体の構成員の高齢化等により、今後の事業継続が懸念されるものがあった。後継者の育成を図るなど、事業の継続に向けた取り組みが求められる。
- ・同種、類似の団体（取り組み）に対する補助金支出が見受けられるので、統合するなどして、より効果的な補助金の活用法を検討すべきものがあった。

3 おわりに

補助金審査委員会では、平成28年度からの3年間、市の任意補助金に対し、限られた時間ではありましたが、行財政改革の一端を担うべく、補助金審査を実施してきたところであります。

今回審査した補助金においては、前回の評価コメントに沿った改善が見受けられたものの、新たな改善点も見つかったところもあります。

補助金交付の長期化は、既得権化・形骸化を招く恐れがあり、補助金交付の終期を設ける必要もあるものと考えるところです。

特に、社会情勢が目まぐるしく変わり、市民ニーズが多様化する中においては、常にその時々状況に合わせた改善が求められています。

今後、人口減少が進み財源も限られてくるなかでは、交付をする側も交付を受ける側も「補助金は市民の税金である」という認識をさらに強くし、その使途についても、どのような効果につながったのか丁寧に説明責任を果たすということをしかりと理解しておかねばなりません。

補助金の多くは、市の活性化に大いに寄与しているもの、市民の健康や生活に有意義なものであるが、常に財源は税金等であるという視点に立って、積極的な改善を図りながら、当委員会の提言も反映し、補助金制度の公平・公正性が高まることを切に願うところであります。

人吉市補助金審査委員会

会長 上拂 耕生

委員 深水 雄二

委員 村田 優子

委員 中島 尚子

【委員会活動実績】

- 第1回** 平成30年8月29日（水）午後2時～午後3時
[内容]
・委嘱状交付
・会長選出
・補助金審査の方法について
・今後のスケジュールについて
- 第2回** 平成30年9月14日（金）午後1時30分～午後4時45分
[内容]
・補助金審査のためのヒアリング（4補助金）
- 第3回** 平成30年9月25日（火）午後1時30分～午後4時30分
[内容]
・補助金審査のためのヒアリング（4補助金）
- 第4回** 平成30年10月11日（木）午後1時30分～午後4時30分
[内容]
・補助金審査のためのヒアリング（4補助金）
- 第5回** 平成30年10月26日（金）午後1時30分～午後4時30分
[内容]
・補助金審査のためのヒアリング（4補助金）
- 第6回** 平成30年11月16日（金）午後1時30分～午後2時30分
[内容]
・審査結果について
・提言書内容についての審議
- 第7回** 平成30年11月28日（水）午後2時～
[内容]
・提言書内容の確認
・市長へ提言

平成30年度 審査対象補助金

No	担当課	補助金名称	H29補助額	区分
1	自治振興課	人吉市町内会長嘱託員連合会補助金	120,000	施策
2	自治振興課	人吉人権擁護委員協議会補助金	207,000	奨励・支援
3	福祉課	人吉地区保護司会補助金	141,000	奨励・支援
4	福祉課	人吉市社会福祉協議会補助金(災害救援ボランティア養成事業)	200,000	施策
5	保健センター	人吉市健康推進員会補助金	375,000	施策
6	商工振興課	人吉球磨能力開発センター補助金	2,180,000	施策
7	観光振興課	人吉温泉観光協会補助金	11,900,000	施策
8	観光振興課	鬼木町臼太鼓踊り保存会補助金	48,000	奨励・支援
9	観光振興課	人吉観光案内人協会補助金	333,000	奨励・支援
10	観光振興課	日本百名城 人吉お城まつり実行委員会補助金	8,990,000	施策
11	農林整備課	ひとよし土地改良区(上原田畑かんモデル地区組合)補助金	361,000	施策
12	学校教育課	人吉市児童生徒生活指導連盟補助金	180,500	奨励・支援
13	学校教育課	人吉市私立幼稚園連盟補助金	672,540	奨励・支援
14	社会教育課	人吉市人権教育推進連絡協議会補助金	285,000	施策
15	社会教育課	人吉市体育協会補助金	3,022,000	奨励・支援
16	防災安全課	消防協会人吉支部交付金	5,936,096	施策